

同志社大学古本募金 同志社女子大学DWCLA古本募金 ご協力のお願い

かつて新島襄がグレイス教会で献金を訴えた際、多くの聴衆から多額の寄付の申し入れがありました。その中で、年老いた農夫と寡婦が手渡した汽車賃の2ドルは、殊更に彼の心を打ち、そしてこの2ドルこそが同志社の核となった、と新島は書き記しています。この時に集まった5000ドルの献金はもちろん、それと同時に、多くの人々から頂いた善意によって同志社は成立しました。

この度、同志社大学・同志社女子大学は「古本募金」を開始する運びとなりました。古本募金とは、皆さまのお手元にある不要となった書籍等（CD・DVD・ゲームソフト等を含む）の買取金額が大学に寄付される仕組みです。その寄付金は、同志社大学では学生の奨学金に、同志社女子大学では図書館の図書購入費用に充てられ、これからの社会を担う学生の未来に繋がります。2ドルの精神をお持ちの皆様からのご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

期 間：随時

寄 付 方 法：下記をご参照ください。

同志社大学 (<http://www.furuhon-bokin.jp/doshisha/>)

同志社女子大学 (<http://www.furuhon-bokin.jp/dwc/>)

寄 付 の 流 れ：

- ① まずは寄付者ご自身で本・CD・DVD・ゲームソフト等の梱包をお願いいたします。
 - ② 各大学のウェブサイト（上記）からお申込みください。
宅配便の集荷日時を指定できますので、あとは集荷を待つだけです。
※合計5冊（5点）から送料無料です※
 - ③ 集荷を指定した日時に宅配業者がご指定場所まで伺います。送り状もウェブサイトからお申込みいただいた内容を印刷して持てきますので手間がかかりません。
 - ④ 後日お手元に届く「寄付受領書」でご確認ください。
- 上記①～③の3ステップで手続き完了です。

FLOW 古本募金の流れ

1. 本・CD・DVD・ゲームを梱包



合計5冊（5点）から送料無料

2. 古本の集荷・仕分け・査定

VALUE BOOKS

3. 買取金額の寄付



同志社大学
Doshisha University



同志社女子大学
Doshisha Women's College of Liberal Arts, Founded in 1876

お問い合わせ先：同志社大学 学生生活課

TEL：075-251-3280

E-mail：ji-kosei@mail.doshisha.ac.jp

同志社女子大学 図書館

京田辺キャンパス TEL：0774-65-8481

今出川キャンパス TEL：075-251-4145

E-mail：tosho-i@dwc.doshisha.ac.jp

新島旧邸公開のお知らせ

新島旧邸の敷地には、幕末まで京都大工頭中井家の屋敷があり、明治初年には中井屋敷を堂上華族の高松保実が所有していました。1875（明治8）年11月29日、新島襄は、この高松邸の半分を賃借して仮校舎とし、生徒8名で同志社英学校を開校しました。翌年、英学校は薩摩藩邸跡地の専用校舎に移りますが、その後、新島は高松邸を購入し、自宅を1878（明治11）年に建築しました。これが、現在の新島旧邸です。同志社発祥の地に建つ新島旧邸を、同志社の建学の理念を体感する場として公開します。

【公開期間】①通常公開

2018年3月1日～7月31日、9月1日～11月29日、2019年3月2日～30日
毎週 火・木・土曜日（祝日は除く、2018年4月29日～5月7日は閉館）

②特別公開

2018年3月20日～22日（卒業式）

4月1日～5日（春の特別公開）

7月29日、8月5日（オープンキャンパス・予定）

10月1日～5日（秋の特別公開）

11月11日（ホームカミングデー・予定）

11月29日（創立記念日）

2019年3月20日～22日（卒業式）

※公開日の詳細はHPをご覧ください。http://archives.doshisha.ac.jp

【公開時間】10:00～16:00（入館受付は15:30まで）

【見学対象】①通常公開

旧邸周囲から建物内部を見学（建物内部には入場できません）

②特別公開

旧邸周囲及び建物内部（母屋1階と附属屋）に入場できます。

※旧邸建物内に一度に入れる人数は20名程度とします。

【入場料】無料

【場所】京都市上京区寺町通丸太町上ル松蔭町

※駐車場、駐輪場はありません。公共交通機関を利用してお願いします。

【団体見学申込】10名以上の団体は、予約が必要です。団体予約は、見学日の1週間前までに電話・FAX・E-mailにて下記にお申し込みください（電話受付は10:00～16:30）。



入場無料

お問い合わせ先

ハリス理化学館同志社ギャラリー事務室（日・月・祝日は閉室）

TEL：075-251-2716 FAX：075-251-2736

E-mail：n-kyutei@mail.doshisha.ac.jp

ハリス理化学館同志社ギャラリー展示ご案内

ハリス理化学館同志社ギャラリーは、創立者新島襄の志と同志社の歴史等を、資料で紹介する展示施設です。ハリス理化学館は、J.N.ハリスの寄附をもとに1890（明治23）年に竣工し、長らく同志社における理化学教育の拠点となった建物です。現在、国の重要文化財に指定されています。

【常設展】ギャラリー内には6つの常設展示室が設けられています。1階には「新島襄の人と思想」、「同志社のあゆみ」、「世界の中の同志社」、「同志社の今」、2階には「J.N.ハリスと同志社」、「京都の中の同志社」と、部屋ごとにテーマがあり、創立以来の歴史と共に、京都や世界と共に歩んできた同志社の足跡をたどることができます。

【企画展】年3回程度開催される企画展は同志社に関わるテーマだけにとどまりません。新しい文化を発信する施設としてふさわしい企画展も適宜開催しています。

※常設展（2か月に1回程度の展示替え有）は随時開催中、企画展は詳細が決まり次第、ホームページでお知らせします。

【入場料】無料

【開館時間】10:00～17:00（最終入館16:30まで）

【閉館日】日曜日、月曜日、祝日、ゴールデンウィーク、夏期休暇中の一定期間、年末年始。ただし、企画展開催中は日曜日も開館します。

※開館日等を変更する場合があります。お越しになる前にホームページ等でご確認ください。

【場所】同志社大学 今出川キャンパス

※駐車場、駐輪場はありません。公共交通機関を利用してお願いします。



入場無料

お問い合わせ先

ハリス理化学館同志社ギャラリー事務室（日・月・祝日は閉室）

ホームページ：http://harris.doshisha.ac.jp/

TEL：075-251-2716 FAX：075-251-2736

E-mail：ji-harjm@mail.doshisha.ac.jp

同志社女子大学の キリスト教主義教育 愛以貫之

同志社教育の根幹のひとつはキリスト教主義教育であり、同志社女子大学における根本理念もまたそこにあります。今回の企画展では、本学が行ってきたキリスト教主義教育のさまざまな取り組みと、それが学生に与えた効果を振り返ります。また、そうした教育を受けて巣立っていった卒業生へのインタビューの成果も公開します。

期 間：2017年11月17日(金)～2018年7月31日(火)
時 間：10:00～16:00
閉 室 日：土・日曜日、祝日（ただし、7月16日(月・祝)を除く）
5月1日(火)、2日(水)
場 所：同志社女子大学史料センター
（今出川キャンパスジェームズ館1階展示室）
主 催：同志社女子大学



雨天体操場内での礼拝（1930年）

お問い合わせ：同志社女子大学史料センター

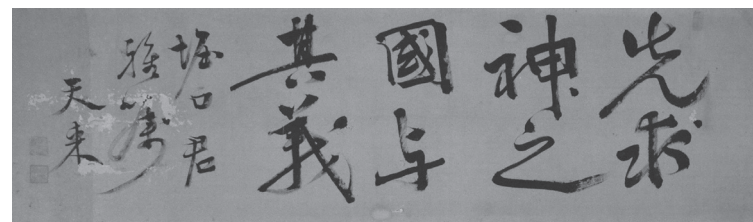
〒602-0893 京都市上京区今出川通寺町西入
TEL：075-251-4200 FAX：075-251-4201
E-mail：shiryo-i@dwc.doshisha.ac.jp

同志社社史資料センター 2017年度新収蔵品展

同志社社史資料センターは、創立者新島襄ならびに同志社関連資料の収集、整理、保存及び公開業務を行っています。本展では、2017（平成29）年度の資料業務の成果の中から、第14代同志社総長・住谷悦治の叔父で明治時代から昭和時代にかけて群馬県で活動した牧師・住谷天来（1869-1944）関係資料、同志社神学校出身の牧師・高橋正道（1870-1942）および同志社の初期の教員Otis Cary（1851-1932）関係資料、本学の学生寮関係資料、そして、1936（昭和11）年設立のFRIEND PEACE HOUSE（同志社布哇寮）関係資料を紹介します。

期 間：2018年3月13日(火)～4月28日(土)
時 間：10:00～17:00（最終入館16:30まで）
閉 室 日：月曜日
場 所：ハリス理化学館同志社ギャラリー2階 企画展示室1
（同志社大学今出川キャンパス）
主 催：同志社大学同志社社史資料センター

入場無料



お問い合わせ先：ハリス理化学館同志社ギャラリー事務室（月曜日閉室）

ホームページ：<http://harris.doshisha.ac.jp/>
TEL：075-251-2716 FAX：075-251-2736
E-mail：ji-harjm@mail.doshisha.ac.jp